



# アカデミック・ライティングのAL型講座の実践と効果検証 ～スポーツ・フロンティア入試入学生のライティング能力の開発～



多田泰紘・岩崎千晶（関西大学 教育推進部 教育開発支援センター）

<キーワード> アカデミック・ライティング, 協同学習, 授業外学習, e-learning, ルーブリック

## 背景

### アカデミック・ライティング

- レポートや卒業論文などの文章執筆
- 課題解決力, 論理的思考力などの複合的能力が求められる

## 目的

### SF入学生のライティング能力の開発

- 短期間での指導・支援
- 自律的な課題遂行や学習機会の提供

### SF入学生（関西大学スポーツ・フロンティア入試入学生）

- 12学部 119名（2017年度合格者数）
- クラブ活動と並行して, 所属学部の授業科目を履修
- 半数以上の学生が, ライティングの学習経験がない

ライティングの経験に関する調査	はい	いいえ
大学入学前の授業で経験した	15名	84名
大学入学後の授業で経験した	40名	59名

## 学生の学び

### 到達目標

- レポートとは何かを説明できる
- テーマを設定し, 文献を収集・読解することができる
- 文献を正しく引用し, 論理的な文章を書くことができる

### 授業の概要

開催回	月日	受講者**	授業	授業外学習	学習サポート
第1回	6/23	102名	講義 個人ワーク	資料収集 レポート作成	個別相談
第2回*	6/30 7/3	46名 54名	講義 協同学習	レポート提出	資料・教材

開催時間は18:15-20:00 \* 同一内容の講義を2日に分けて開催した。  
\*\* 第1回は対象者全員が, 第2回は半数が受講した(欠席者を除く)。

### 【第1回授業】

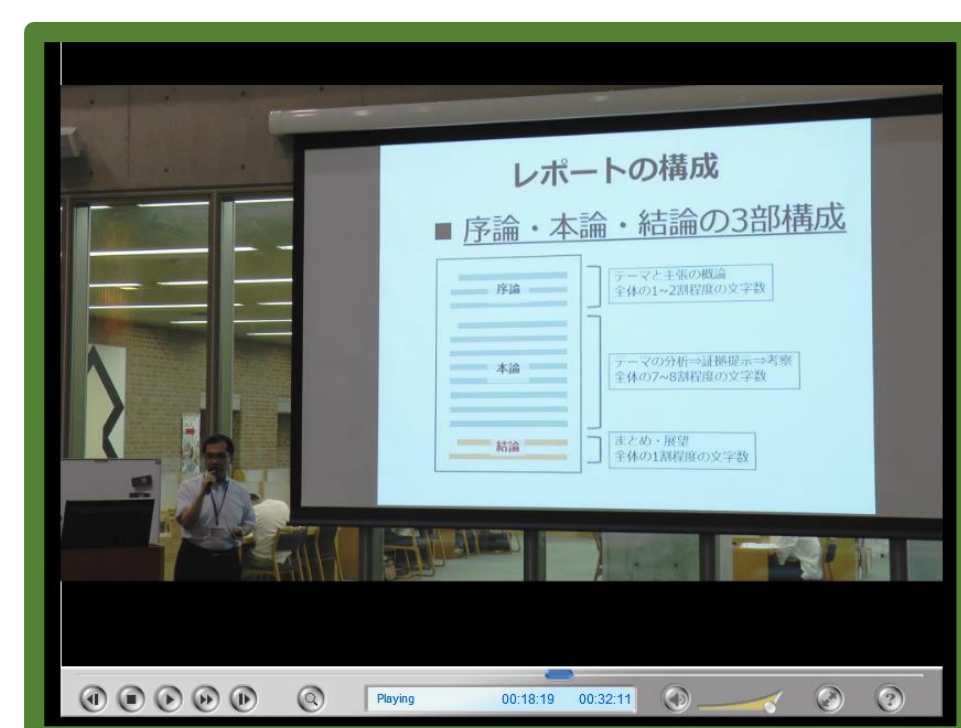
- ライティングスキルに関する講義
  - ・ 感想文とレポートの違い
  - ・ テーマ設定と文献収集の方法
- 講義に沿った個人ワークを行う



第1回講座の様子

### 【授業外学習と学習サポート】

- 文献を収集し, レポートを作成する
- サンプルレポート(資料)を配付
- 文章作成に関する動画教材を配信



動画教材

### 【第2回授業】

- ライティングスキルに関する講義
  - ・ 引用方法, 論理的な文章構成
- レポート作成に関する協同学習
  - ・ 1グループ5-6人でレポートを作成し, 発表する

### 【授業外学習と学習サポート】

- レポートを改訂・提出し, フィードバックを受ける
- ライティングラボでの個別相談を利用する

### 関西大学ライティングラボ

- レポート, 卒論等作成の支援を行う
- 院生(博士課程)・PDによる個別相談
- セミナーの開催, 教材開発



URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/labo/index.html>

## 概要

### AL型講座の実践

- 全2回開講し, 2017年度SF入学生1年生116名が受講
- 授業ではライティングスキルに関する講義と並行して, 個人ワークと協同学習を実施
- 授業外学習として, 文献収集, レポート作成を与題
- 授業外での個別相談の機会を提供し, 資料・教材を配付

### AL型講座の効果検証

- アンケートによるプレ/ポスト調査
- ルーブリックによるレポートの評価
- ➡ 課題に沿った論理的な文章作成に習熟

## 課題と展望

- ライティングスキルの講義に時間を費やしてしまう
- 学習における積極性の差が生じる(フリーライダーの出現)
- ➡ チェックリストによる学生同士のピアレビューを行う
- ➡ ひとつのグループの人数を3-4人にする

## 学生の成長

### アンケートによる受講学生の意識調査

- 第1回開始前(プレ)と第2回終了後(ポスト)に実施
- ライティングスキルに関する自己評価を4段階で回答できない/自信がない(評価1) << できる/自信がある(評価4)

項目*	プレ平均値	ポスト平均値
感想文とレポートの違いを説明できる	2.25	3.16 ↑
テーマ設定について自信がある	1.96	2.84 ↑
自分で文献を探すことができる	2.19	2.87 ↑
引用方法について理解している	2.31	3.11 ↑
論理的な文章の組み立てに自信がある	2.11	2.88 ↑

プレ/ポスト調査の両方に回答した受講生75名のデータを使用した。  
正規性を確認した後, 対応のあるt検定を行った。  
\* 項目は到達目標と対応している。

### ルーブリックによるライティング能力の評価

- 提出されたレポート(113名)について評価を行った
- 評価観点は授業内で学生に提示した

評価観点*ごとの評価点の平均				総合評価点の平均
テーマと主張	客観的な証拠	文章の構成	文法	11.64
2.88	2.53	3.00	3.23	

\*評価観点は講座の到達目標(ライティング能力に関する3項目)と「文法(で・ある調, 誤字・脱字の有無)」で構成した。

### 提出されたレポートのフィードバック

- 評価後, コメントと改善点を付記して学生へ返却した
- 12点未満の学生には, ライティングラボで相談を受け, 修正したレポートを再提出するよう促した

## 謝辞

本研究の実施にあたりご協力いただきました, 関西大学学生サービス事務局スポーツ振興グループ職員, ならびに2017年度ライティングラボチューターの皆様に感謝申し上げます。

本取り組みの一部は, 2016年度関西大学教育研究高度化促進費において課題「アカデミック・ライティング力を育むための教育システム開発とデザイン原則の導出」として促進費を受け, その成果を公表するものである。